

デジタル社会の実現に向けた
添田町 第2期 まち・ひと・しごと
創 生 総 合 戦 略

令和 3 年 3 月
(令和 4 年 3 月改訂)
(令和 5 年 3 月改訂)
(令和 6 年 3 月改訂)

添 田 町

目 次

1	添田町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の趣旨	1
2	総合戦略の位置づけ	2
3	総合戦略の対象期間	2
4	将来像（10年後のありたい姿と5年間の取り組み方針）	3
5	第2期総合戦略の検証	4
6	総合戦略の4つの基本目標	11
7	具体的な取り組みと成果指標	15
	基本目標1 添田町への新しい「ひと」の流れをつくる	15
	基本目標2 添田町への新しい「しごと」の流れをつくる	18
	基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	21
	基本目標4 安全・安心をベースに誰もが活躍できる場をつくる	24
8	総合戦略の推進体制	28

1 添田町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂の趣旨

令和3年3月に策定した「添田町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「第2期総合戦略」という。）では、少子化と人口減少を克服し、持続可能な地域社会を構築するという方向性は添田町第6次総合計画（以下「総合計画」という。）と同一のものであることから、総合計画に基づき策定することとしました。その後、国は、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を活かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化することとして、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和5（2023）年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が、令和4年12月に閣議決定されました。

また本町において、各種デジタル技術を活用し、添田町の行政サービスの高度化、行政手続等の簡素化・効率化、地域課題の解決を図ることを目的に、令和6（2024）年度を初年度とした「添田町DX推進計画」の策定を行うこととしました。この計画は、総合計画及び第2期総合戦略の内容を補完するものです。

以上の本町を取り巻く社会情勢を受け、これらの内容を反映し、これまで進めてきた人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を、デジタルの力を活用して継承・発展させていくために、「第2期総合戦略」について、「デジタル社会の実現に向けた第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」という。）と名称を変更して改訂しました。

■第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（国）の基本的な考え方

【基本目標】

- ① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

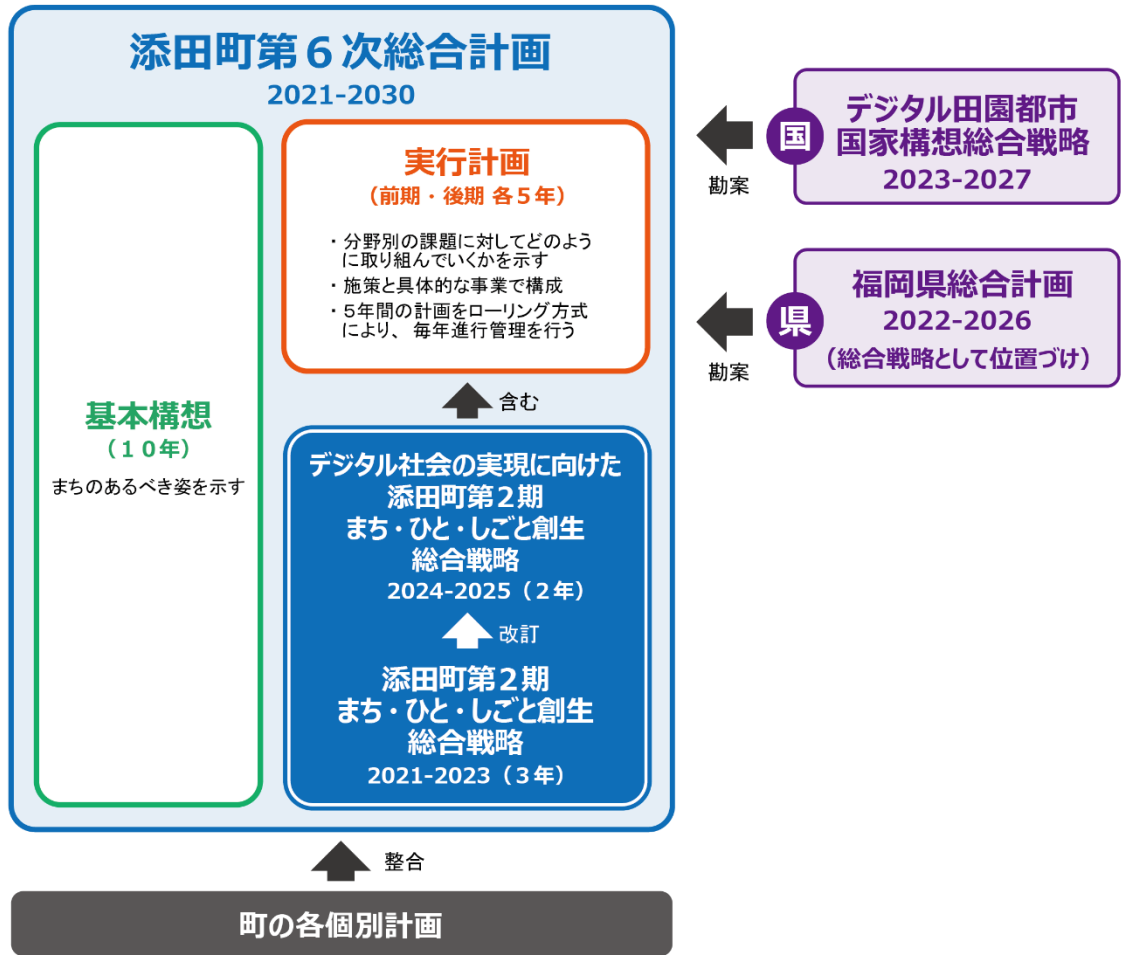
■デジタル田園都市国家構想（国）における施策の方向

（1）デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

2 総合戦略の位置づけ

本町では、総合計画を町の最上位計画と捉え、あらゆる計画の基本となり、行政運営の総合的な指針として位置づけています。



3 総合戦略の対象期間

令和3年度から令和7年度までとします。

4 将来像（10年後のありたい姿と5年間の取り組み方針）

総合戦略において目指す将来像は、総合計画と同様に「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」とし、交流人口・関係人口の増加に取り組みます。

添田町に関わる人を増やし、町の魅力を高め、課題解決を図るため「添田町の今の姿を、町民だけでなく添田ファンの方にも知ってもらう」を取り組みの方向性として定めます。

将来像 ～10年後のありたい姿～

いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち

誰もが孤立することなく健康で、持続可能な農林業や、人々の交流を生み出す観光などによる雇用創出を図り、豊かな自然環境のもと住み続けられる、住みたくなるまちをつくる

将来像の実現のための合言葉

みんなでまちづくり

将来像の実現に向けては、これまでのやり方・考え方にとらわれることなく、みんなが一緒に知恵を出し合い、役割を分担しながら、まちづくりに取り組むこととします。

10年後に目指すまちの姿

「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくなるまち」

- ・町内者が住み続けたい町
- ・町外者が住みたいと思う町

上記実現のために力を入れる4分野

農林業 観光 健康 教育



合言葉

「みんなでまちづくり」

住民：参画（一緒にする）
行政：各課連携（脱縦割り）

+

町外とのネットワーク
（人財発掘・育成）

プロジェクト
チームを
立ち上げ
検討・実施

【5年間（令和3年度～7年度）の取組の方向性】

添田町の今の姿を、町民だけでなく、添田ファンの方にも知ってもらう

（例：学び・体験プロジェクト）

農林業×観光：関係人口の視点から主に福岡都市圏の居住者を対象とした体験農林業のプログラムの実施

健康×教育：高齢者の活躍の場として、町内の小学生・中学生を対象とした地域の産業・伝統文化に関する学習機会の提供

【やるべきこと】

分野横断型（脱縦割り）の体制構築と持続可能な協働の仕組みづくり

【令和7年度の姿】

交流人口・関係人口が増加している

5 第2期総合戦略の検証

(1) 基本目標・施策別指標の達成状況

総合戦略における4つの基本目標に掲げる指標（KGI）と、基本目標に関する各施策の指標（KPI）について、目標値に対する実績値の達成率を4段階で評価し、検証します。

基本目標1 添田町への新しい「ひと」の流れをつくる

■基本目標の指標【KGI】

	実績値		目標値	単位	達成状況	
	R3	R4	R7		実績(R4)/目標値(R7)	評価
①空き家バンク登録物件成立件数	8	9	3	件	300.0%	S
②観光施設利用者数	64,815	65,377	100,000	人	65.4%	B

■基本目標に関する施策の指標【KPI】

	S	A	B	C	計
評価可能な施策の件数	4件	0件	0件	2件	6件
評価別件数割合	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%

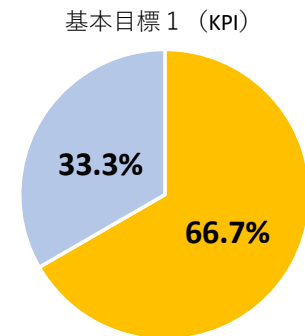
S	達成率 ≥ 100%
A	100% > 達成率 ≥ 80%
B	80% > 達成率 ≥ 60%
C	60% > 達成率

施策	主要施策	指標【KPI】	実績値				目標値	単位	達成状況		
			R1	R3	R4	R5.9 速報値	R5		実績(R4)/ 目標値(R5)	評価	
(1) 定住・移住 対策の充実 を図る	①移住・定住を推進する	移住定住総合支援	189	151	327	76	200	件	163.5%	S	
		空き家・空き地バンク登録物件成立件数	5	8	13	8	3	件	433.3%	S	
		サテライトオフィスの誘致	0	0	0	0	1	社	0.0%	C	
		目的別リノベーション支援	0	0	0	0	4	社	0.0%	C	
(2) 歴史文化遺産 の継承と 活用を図る	①有形文化財等の保存と活用を 推進する	庭園公開イベント開催数	0	0	3	0	1	回	300.0%	S	
		中島家来館者数	(R5年度より設定)				1,561	4,700	人	-	-
(3) 観光の振興 を図る	①民間観光プレーヤーを育成・ 確保する	観光ガイド、体験プログラム件数	10	14	23	15	18	件	127.8%	S	
	②観光プロモーション活動を推 進する	自然共生型アウトドアパーク年間利用者数	(R5年度より設定)				3,994	7,000	人	-	-
	③観光施設等を効果的に利活用 する	旧鉄道駅の年間利用者数	(R5年度より設定)				-	35,000	人	-	-

基本目標に関する施策の指標（KPI）は、評価「S」が66.7%、評価「C」が33.3%で、達成率80%以上の指標は66.7%となっており、達成状況は概ね順調です。

施策の内容は、「施策（1）定住・移住対策の充実を図る」は評価「S」が2件、評価「C」が2件、「施策（2）歴史文化遺産の継承と活用を図る」は評価「S」が1件、「施策（3）観光の振興を図る」は評価「S」が1件となっています。

基本目標の指標（KGI）における、「空き家バンク登録物件成立件数」は、定住促進リノベーション支援事業の活用により、空き家バンクの利用希望者が増加したため、目標値を大きく上回っています。「観光施設利用者数」は、達成率65.4%で目標未達成となっており、今後も新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、誘客事業を推進していく必要があります。



基本目標 2 添田町への新しい「しごと」の流れをつくる

■基本目標の指標【KGI】

	実績値		目標値	単位	達成状況	
	R3	R4	R7		実績(R4)/目標値(R7)	評価
①新規就農者数	0	1	4	人	25.0%	C
②就林個別相談件数	0	0	30	人	0.0%	C

■基本目標に関する施策の指標【KPI】

	S	A	B	C	計
評価可能な施策の件数	2件	3件	0件	2件	7件
評価別件数割合	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	100.0%

S
A
B
C

達成率 ≥ 100%

100% > 達成率 ≥ 80%

80% > 達成率 ≥ 60%

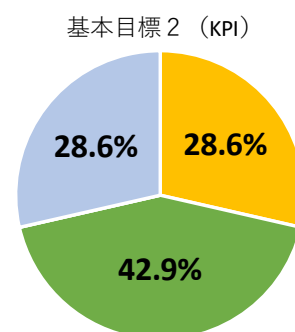
60% > 達成率

施策	主要施策	指標【KPI】	実績値				目標値	単位	達成状況	
			R1	R3	R4	R5.9 速報値	R5		実績(R4)/ 目標値(R5)	評価
(1) 農林業の振興を図る	①担い手を育成・確保する	認定農業者数	22	25	23	24	25	人	92.0%	A
	②付加価値の高い作物づくりを推進する	高収益型園芸用施設等の導入	0	0	0	0	1	件	0.0%	C
		地域材利用推進（バイオマス）	19,000	60,000	68,544	35,000	60,000	t	114.2%	S
	③生産基盤の整備と強化を推進する	農地整備事業実施数	0	0	0	0	1	地区	0.0%	C
		地域材素材生産量	12,000	30,000	29,613	14,126	30,000	m ²	98.7%	A
(2) 商工業の振興を図る	①雇用の場を創出する	事業所数	316	322	335	332	336	事業所	99.7%	A
(3) 特産物の開発・ブランド化の推進を図る	①特産物の販路を拡大する	加工品販売促進支援数	0	4	2	2	2	品	100.0%	S
	②特産物のブランド化を推進する									

基本目標に関する施策の指標（KPI）は、評価「S」が28.6%、評価「A」が42.9%、評価「C」が28.6%で、達成率80%以上の指標は71.4%となっており、達成状況は概ね順調です。

施策の内容は、「施策（1）農林業の振興を図る」は評価「S」が1件、評価「A」が2件、評価「C」が2件、「施策（2）商工業の振興を図る」は評価「A」が1件、「施策（3）特産物の開発・ブランド化の推進を図る」は評価「S」が1件となっています。

基本目標の指標（KGI）における、「新規就農者数」は、補助金交付者1名への就農定着支援を行いましたが、目標値の達成率は25.0%となっています。「就林個別相談件数」は、実績がなく達成率は0.0%となっています。少子高齢化の進行に伴い、農業や林業の労働力不足が見込まれる中で、これまで以上に担い手の確保につなげる施策に取り組む必要があります。



基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■基本目標の指標【KGI】

	実績値		目標値	単位	達成状況	
	R3	R4	R7		実績(R4)/目標値(R7)	評価
①子育て支援センター利用者数	1,440	1,516	1,440	人	105.3%	S
②保育所待機児童数	0	0	0	人	100.0%	S

■基本目標に関する施策の指標【KPI】

	S	A	B	C	計
評価可能な施策の件数	2件	2件	0件	0件	4件
評価別件数割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

S
A
B
C

達成率 ≥ 100%

100% > 達成率 ≥ 80%

80% > 達成率 ≥ 60%

60% > 達成率

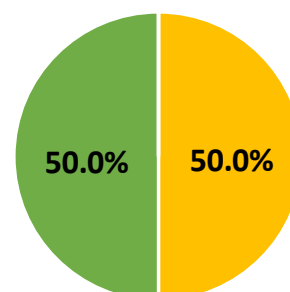
施策	主要施策	指標【KPI】	実績値				目標値	単位	達成状況	
			R1	R3	R4	R5.9 速報値	R5		実績(R4)/ 目標値(R5)	評価
(1) 健康づくりの推進と地域医療の充実を図る	①妊産婦や乳幼児の健康づくりを推進する	乳幼児健診受診率	90.1	89.2	94.1	88.1	95.0	%	99.1%	A
	②感染症を予防する									
(2) 子育て支援の充実を図る	①相談体制の充実を図る	リユース利用者数	106	41	171	57	100	人	171.0%	S
	②仕事と子育ての両立を支援する									
	③子育て家庭を経済的に支援する									
	④児童の育成を支援する	児童館体験活動開催数	25	15	26	17	28	回	92.9%	A
(3) 学校教育の充実を図る	①幼児教育の充実を図る	教育支援事業	(R5年度より設定)				-	100.0	%	-
	②教育環境の充実を図る	ICT教育推進計画達成率	(R5年度より設定)				-	100.0	%	-
	③豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する	ふるさと学習実施数	(R5年度より設定)				-	30	時間	-
	④多様な教育的ニーズに対応する	不登校の割合	4.0	1.7	1.6	2.3	1.6	%	100.0%	S

基本目標に関する施策の指標（KPI）は、評価「S」及び評価「A」は 50.0%で、達成率 80%以上の指標は 100.0%となっており、達成状況は順調です。

施策の内容は、「施策（1）健康づくりの推進と地域医療の充実を図る」は評価「A」が1件、「施策（2）子育て支援の充実を図る」は評価「S」が1件、評価「A」が1件、「施策（3）学校教育の充実を図る」は評価「S」が1件となっています。

基本目標の指標（KGI）における、「子育て支援センター利用者数」は、目標人数を上回っています。また、「保育所待機児童数」は、令和3年度に引き続き0人で評価「S」となっており、目標を達成しています。

基本目標3（KPI）



基本目標 4 安全・安心をベースに誰もが活躍できる場をつくる

■基本目標の指標【KGI】

	実績値		目標値	単位	達成状況	
	R3	R4	R7		実績(R4)/目標値(R7)	評価
①災害時被災者数	1	0	0	人	100.0%	S
②そえだ公民館利用者	10,703	22,232	25,000	人	88.9%	A

■基本目標に関係する施策の指標【KPI】

	S	A	B	C	計
評価可能な 施策の件数	2件	0件	3件	2件	7件
評価別 件数割合	28.6%	0.0%	42.9%	28.6%	100.0%

S
A
B
C

達成率 ≥ 100%
 100% > 達成率 ≥ 80%
 80% > 達成率 ≥ 60%
 60% > 達成率

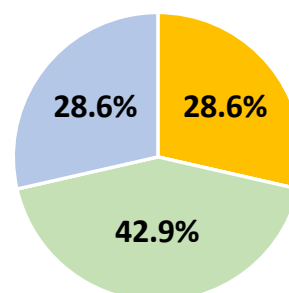
施策	主要施策	指標【KPI】	実績値				目標値	単位	達成状況	
			R1	R3	R4	R5.9 速報値	R5		実績(R4)/ 目標値(R5)	評価
(1) 防災・危機 管理対策の 充実を図る	①災害時の円滑な避難に備える	自主防災組織数	4	5	6	6	8	団体	75.0%	B
	②自主防災力の向上を図る									
(2) 公共インフ ラの整備	①地域の公共交通を維持する	公共交通カバー人数 (町バス及びデマンド型乗合交通利用者)	12,491	8,604	8,890	3,390	12,000	人	74.1%	B
(3) 地域共生社 会の実現を 図る	①社会参加と生きがいづくりを 支援する	地域生活拠点の運営	0	1	1	1	1	箇所	100.0%	S
(4) 社会教育・ 生涯学習の 推進を図る	①自ら求め、学び合う生涯学習 活動を推進する	シニアパワーアップ塾参加者数	76	51	53	56	80	人	66.3%	B
		公民館講座受講者数	82	40	107	91	100	人	107.0%	S
(5) 協働のまち づくりの推 進を図る	①協働のまちづくりを推進する	みんなでまちづくり事業数	0	0	0	0	3	事業	0.0%	C
	②地域の実情に合わせたコミュ ニティ活動を支援する	地域運営組織（小さな拠点）形成数	0	0	0	0	1	組織	0.0%	C

基本目標に関係する施策の指標（KPI）は、評価「S」が 28.6%で、評価「B」が 42.9%、評価「C」が 28.6%で、達成率 80%以上の指標は 28.6%となっており、他の基本目標と比較して達成度が低い状況にあります。

施策の内容は、「施策（1）防災・危機管理対策の充実を図る」は評価「B」が 1 件、「施策（2）公共インフラの整備」は評価「B」が 1 件、「施策（3）地域共生社会の実現を図る」は評価「S」が 1 件、「施策（4）社会教育・生涯学習の推進を図る」は評価「S」が 1 件、「B」が 1 件、「施策（5）協働のまちづくりの推進を図る」は評価「C」が 2 件となっています。

基本目標の指標（KGI）における、「災害時被災者数」は令和 3 年度で発生しましたが、令和 4 年度では 0 人で、評価「S」となっており、目標を達成しています。また、「そえだ公民館利用者」は 88.9%で評価「A」となっており、概ね目標を達成しています。

基本目標 4（KPI）



(2) 検証の総括と改訂の方向性

基本目標 1 添田町への新しい「ひと」の流れをつくる

◇ 検証の総括

- (1) 定住・住宅対策の充実を図る
 - ・空き家バンク登録物件成立件数は目標値を上回り、移住定住総合支援や空き家・空き地バンク事業等の成果が表れています。しかし、移住・定住の関連施策等への取り組みが不十分となっています。
- (2) 歴史文化遺産の継承と活用を図る
 - ・庭園公開イベントは目標値より多く開催しましたが、取り組みは単年度のみとなっています。
- (3) 観光の振興を図る
 - ・観光ガイドや体験プログラム件数は目標値を上回っていますが、指標の観光施設利用者数の増加に表れていない状況です。



◆ 改訂の方向性

- 空き家・空き地の活用の推進にとどまらず、町外の様々な人材を受け入れる施策など、関連事業の充実により転入者増につなげる施策と指標が求められています。
- 町の資源を活用した「ひと」の流れの創出のため、歴史的・文化的資源の更なる整備・活用の施策と指標が求められます。
- 観光資源の拠点性や回遊性を高める施策により、施設利用者増の効果につなげる施策と指標が求められます。

基本目標 2 添田町への新しい「しごと」の流れをつくる

◇ 検証の総括

- (1) 農林業の振興を図る
 - ・地域材利用推進は目標達成、認定農業者数や地域材素材生産量は概ね目標を達成していますが、指標の新規就農者数等に表れていない状況にあります。
- (2) 商工業の振興を図る
 - ・施策の事業所数は概ね目標値に達していますが、新しい「しごと」の流れにつなげる必要があります。
- (3) 特産物の開発・ブランド化を図る
 - ・加工品販売促進支援は進んでいますが、さらに、特産品のブランド化が求められます。



◆ 改訂の方向性

- 農林業の基盤整備と新たな森林づくりや地産地消など、農林業の振興を総合的に展開する施策と指標が求められます。
- 創業支援と特産品のブランド化に関する施策と指標が求められます。

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◇ 検証の総括

- (1) 健康づくりの推進と地域医療の充実を図る
 - ・乳幼児健診受診率は概ね目標値に達しており、健康づくりは進められています。
- (2) 子育て支援の充実を図る
 - ・子育てに関するリユース利用者数は目標達成、児童館体験活動開催数は概ね目標を達成しており、指標の子育て支援センター利用者数の増加に反映しています。
- (3) 学校教育の充実を図る
 - ・不登校の割合は目標を達成していますが、幼児教育の充実や教育環境の充実等は、達成状況を把握することが困難な状況にあります。

◆ 改訂の方向性



- 乳幼児期の健康づくりや、子育ての経済的な支援など、子育て家庭に寄り添う主要施策や目標値の設定が求められます。
- 子育て家庭に必要な主要施策や、親子の活動状況を把握できる目標の設定が求められます。
- 本町の学校教育方針を具体化する施策と、達成状況を把握できる指標の設定が求められます。

基本目標4 安全・安心をベースに誰もが活躍できる場をつくる

◇ 効果の総括

- (1) 防災・危機管理対策の充実を図る
 - ・自主防災組織数は着実に増加していますが、防災の取り組みを示す指標が不足しています。
- (2) 公共インフラの整備
 - ・公共交通のカバー人数は減少傾向にあり、利用者の利便性の向上を図る必要があります。
- (3) 地域共生社会の実現を図る
 - ・地域生活拠点の運営は1箇所ありますが、具体的な取り組みの指標が不足しています。
- (4) 社会教育・生涯学習の推進を図る
 - ・公民館講座受講者数は増加し、推進が図られており、指標のそえだ公民館利用者数の増加に反映しています。
- (5) 協働のまちづくりの推進を図る
 - ・みんなでまちづくり事業数等の実績把握が困難となっています。

◆ 改訂の方向性



- 防災・危機管理対策について施策の充実と、具体的な指標を示す必要があります。
- 地域共生社会の実現、社会教育・生涯学習の推進、協働のまちづくりの施策を統合し、生きがいと地域づくりの観点で施策を整理する必要があります。
- 安全・安心に関するデジタル技術を、町民が活用できる施策と指標が必要です。

6 総合戦略の4つの基本目標

総合計画における基本構想や、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略、県の総合計画に示されている基本的な考え方及び今後の施策の方向などを踏まえ、総合戦略における基本目標を次のように定めます。

基本目標1 添田町への新しい「ひと」の流れをつくる

■基本目標の方向性

本町では、少子高齢化等に伴う人口減少により、急速に増加した空き家・空き地を対象に、町外からの移住希望者や町内在住で住宅取得希望者等に対し、空き家バンク事業を積極的に活用できるよう支援を充実し、移住者の増加及び人口流出に歯止めをかけることとします。

また、本町が誇る歴史文化遺産や、地域に根付いた文化伝統の承継を支援していくとともに、総合計画に定めた、にぎわい拠点・滞留拠点の両拠点をBRTの活用により回遊性を高め、自然の豊かさを活かした特色ある観光施策を推進します。

さらに、定住促進・文化財の保護及び利活用・観光の施策を、デジタル技術を活用して、より効果的に行うことで、関係人口・交流人口の増加を促します。

■数値目標

指 標 (KGI)	(参考) 実績値	目標値 (令和7年度)
転入・転出人口比率 (転入者数÷転出者数×100)	60.4% (令和2～4年度平均)	60%
BRTでつながるにぎわい拠点等来場者数	364,388人/年 (令和4年度)	450,000人/年

■施策

- (1) 定住・住宅対策の充実を図る
- (2) 歴史文化遺産の継承と活用を図る
- (3) 観光の振興を図る

基本目標 2 添田町への新しい「しごと」の流れをつくる

■基本目標の方向性

人口減少による担い手不足が深刻な問題となる中であって、添田町の豊かな自然に育まれた農林業の発展のため、意欲ある農林事業者へのデジタル技術の導入支援、野生鳥獣による農林産物被害の低減のため個体数調整に努め、耕作放棄地や荒廃森林の増加防止のために効率的な支援を進めるとともに、町域の8割を占める森林を強みとした環境対策に取り組むなど、農林業の維持・再生を図ります。

また、新規創業者への支援や、町内の事業者に対し、商工会等と連携することで商工業者への支援を充実させ、地場産業の保護・振興及び後継者確保対策に取り組むとともに、捕獲された野生鳥獣を添田産ジビエとして販路の拡大を目指すなど、町の特色を活かした特産品の開発支援や販売促進、それらを後押しするためのデジタル技術の活用や、道の駅歓遊舎ひこさんを情報発信の核とし、購買機会の増加を図ることで、地域経済の活性化を目指します。

■数値目標

指 標 (K G I)	(参考) 実績値	目標値 (令和 7 年度)
町内事業所数	335 事業所 (令和 4 年度)	340 事業所
ふるさと納税返礼品取扱い事業所数	14 事業所 (令和 4 年度)	18 事業所

■施策

(1) 農林業の維持・再生を図る

(2) 地域産業の振興を図る

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

■基本目標の方向性

全国的に、若い世代の未婚率の増加や晩婚化が大きな要因のひとつとして、少子化が加速しているなか、本町では、妊娠・出産・子育ての各ステージにおいて、切れ目のない支援体制を構築することで、添田町に定住し、子どもを産み、育てたいと思えるような環境の充実を目指していきます。

また、学校教育については、学校生活・家庭環境など子どもを取り巻くありとあらゆる問題に対して解決に向けた積極的な支援を行うことで、どの子どもも安心して過ごせる環境づくりに取り組むとともに、生きる力を育むためのカリキュラムや、これからの社会に対応できるよう、将来を見据えた教育を積極的に取り入れることで自発的な子どもの育成を促します。さらに、これらの施策をＩＣＴ技術の活用により、各ステージを通じて効果的な一貫した支援を行うことで、安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備を目指します。

■数値目標

指 標（ＫＧＩ）	（参考） 実績値	目標値 （令和 7 年度）
合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）	0.96 （令和 3 年度）	1.05
「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒（中学 3 年生）の割合	30.9% （令和 5 年度）	39.4% （令和 5 年度全国平均値）

■施策

- （１）妊産婦や乳幼児の健康づくりを推進する
- （２）子育て支援の充実を図る
- （３）学校教育の充実を図る

基本目標 4 安全・安心をベースに誰もが活躍できる場をつくる

■基本目標の方向性

人口減少や少子高齢化などを要因とする地域の担い手不足や、頻発する自然災害に備えるため、自助・共助の意識を醸成し、誰もが日常的にお互いを支えあえる体制の構築を支援するとともに、令和7年度に小学校を統合した小中学校の開校による廃校の利活用に取り組むことで、これまで校区を核につながっていたコミュニティを衰退させることのない施策を推進します。併せて、総合計画に掲げる合言葉「みんなでまちづくり」を体現し、町民ひとりひとりが生涯を通じて学び、活躍できること、ひいては、それらを通じて地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

また、高齢化が進む中でも、地域の実情に応じた地域交通網を構築し、各施策にデジタル技術などを取り入れ、町内の医療施設や支援施設等と連携することで、健康寿命の延伸、買い物弱者支援や介護予防に努め、町内全域で誰もが活躍でき、便利で快適に暮らすことができる地域共生社会の実現を目指します。

■数値目標

指 標（KGI）	（参考） 実績値	目標値 （令和7年度）
防災・危機管理対策が充実していると感じる割合	37.4% （令和元年度）	50%
町民の健康寿命の延伸 （65歳以上で要介護2未満の平均年齢）	男性 77.9 歳 女性 84.0 歳 （令和4年度）	男性 78.4 歳以上 女性 84.5 歳以上

■施策

- （１）防災・危機管理対策の充実を図る
- （２）生きがいを持てる環境づくりを図る
- （３）デジタル技術導入の推進を図る

7 具体的な取り組みと成果指標

基本目標 1 添田町への新しい「ひと」の流れをつくる



(1) 定住・住宅対策の充実を図る

基本的施策

全国的に空き家、空き地は今後も増加していくことが予想されるなか、本町では、空き家・空き地バンクによる情報発信に努め、定住者向けの様々な支援を組み合わせることで、町内外からの移住者、定住者の増加を促進します。

また、町外からの多様な人材を呼び込み、町内での新たな事業展開や創業を促すため、サテライトオフィスの誘致やワーケーションなど新しい働き方に対応した受け入れ体制の構築を推進します。

取り組み内容

- ① 空き家や空き地を貸したい・売りたい人、空き家に住みたい・購入したい人の情報登録を行い、HPなどで広く周知を図り、利活用を推進します。
- ② 定住を目的に町内で新たに空き家を購入し、改築する場合の一部支援を行います。
- ③ 町外から多様な人材を呼び込めるように、サテライトオフィス等の進出を促すための環境整備等の取り組みについて検討していきます。

■ 成果指標

指 標 (KPI)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
空き家・空き地バンク登録物件数	13件/年	10件/年
空き家・空き地マッチング数	9件/年	7件/年
移住者数	5世帯/年	5世帯/年

■ 具体的な事業

- ・ 空き家・空き地バンクマッチング支援事業
- ・ 定住促進リノベーション支援事業

など

(2) 歴史文化遺産の継承と活用を図る

基本的施策

本町では雄大な自然を背景に、伝統的な祭礼と歴史的な建造物が一体として受け継がれていることで、独特の風情・趣が醸し出されています。これまで大切に伝承されてきた貴重な歴史・文化遺産を継承するため、歴史的建造物の保存・活用や周辺環境の整備を推進します。

また、民間所有の指定文化財においても、『添田町文化財保護条例』に基づく支援により所有者の負担軽減を図り、確実かつ適切に次世代へ継承していくとともに、これら歴史・文化資源を活用したイベントの開催等により、憩いの場所とすることで地域の活性化を図り、歴史文化遺産を身近なものとして親しまれるようにすることで、将来にわたる歴史・文化財の伝承者の育成につなげます。

取り組み内容

- ① 「国指定重要文化財 中島家住宅」を通じて、歴史・文化に対する町民の理解を深め、併せて指定管理者によるイベント開催などにより地域の活性化を図ります。
- ② 民間所有の指定文化財においては、補助金交付など町の支援により所有者負担の軽減を図ることで、史跡「英彦山」などの保存活用整備を推進します。
- ③ 英彦山の振興に向けて民間事業者と連携し、参道沿いの坊舎跡に宿泊機能を持たせた整備を行い、宿坊の再興を図り、地域活性化に取り組みます。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大により、伝統芸能等の継続や伝承がこれまで以上に危機的な状況に陥っていることから、関係団体への支援を図るとともに、発表イベントの開催など、担い手や伝承者の育成を図ります。

■ 成果指標

指 標 (K P I)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
中島家住宅来館者数	—	6,000 人/年

■ 具体的な事業

- ・ 中島家住宅利活用事業
 - ・ 英彦山神宮上宮社殿改修補助
 - ・ 英彦山参道における宿坊整備事業
 - ・ 民俗文化財等伝承支援事業
- など

(3) 観光の振興を図る

基本的施策

本町は国定公園英彦山をはじめとした豊かな自然に根付いた郷土文化、産業、地域資源などの強みを活かし、集客を複合的に展開し回遊性を高めることで、滞在時間の延長による観光消費の増加や、観光資源の創出によるにぎわいづくりの拠点整備を進め、町の活性化に寄与するとともに、更なる魅力向上を図ることで、交流人口や関係人口の増加へつなげます。

また、町内の特色のある情報の発信を強化して、本町のブランド力や知名度を向上させ、町外からの来訪を促す取り組みを総合的に展開します。

取り組み内容

- ① 町の観光振興及び郷土文化・産業に資する各種イベント等の経費を支援します。
- ② BRTを軸に、道の駅歓遊舎ひこさんや、フォレストアドベンチャー・添田などと連携し、にぎわい拠点・滞留拠点等の形成を推進します。
- ③ 四季折々の観光情報など、各種媒体（LINE等）により宣伝広告を行います。

■ 成果指標

指 標 (KPI)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
フォレストアドベンチャー・添田の利用者数	—	10,080 人/年
SOEDA-NAVIへのアクセス人数(延べ)	51,000 人/年	60,000 人/年

■ 具体的な事業

・観光イベント支援事業 ・BRTを軸としたにぎわい拠点等事業 ・観光プロモーション活動推進	など
---	----

基本目標 2 添田町への新しい「しごと」の流れをつくる



(1) 農林業の維持・再生を図る

基本的施策

本町の基幹産業のひとつである農林業について、その従事者の確保・定着による農林業の継続性を保つため、作業効率の改善による生産性の向上・経営の安定化に対する支援や、農地の基盤整備を推進するとともに、町内産農産物を食育へ活用します。

また、森林の適正な整備及び保全に取り組み、大雨や台風による自然災害に備え、災害に強く、自然環境を活かした新たな森林づくりを目指します。さらには、有害鳥獣対策に取り組むことで、本町の農林業の多面的な機能の維持・活用を推進し、農林業の担い手確保・定着を図ります。

取り組み内容

- ① 町内の農林業の継続性維持・再生を図るために、農林業の担い手確保・定着を図ります。
- ② 耕作条件の悪い不整形な区画の整備により、生産基盤の強化を図ります。
- ③ 町内で生産される代表的な食材である、米を学校給食に積極的に取り入れることで、SDGsへの関心を深め地産地消に寄与できるように取り組みます。
- ④ 豪雨時における地表流の急激な流出を抑えるため、下層植生が少ない箇所には伐採木を活用し自然環境の保護に取り組みます。
- ⑤ 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの吸収が期待されるセンダンの植樹に取り組み、地球環境にやさしい森林づくりを推進します。
- ⑥ イノシシ、シカ等による農作物等の被害を防止するために、耕作地等への侵入防止・捕獲等に取り組みます。

■ 成果指標

指 標（K P I）	現状値 （令和4年度）	目標値 （令和7年度）
小・中学校の学校給食での添田町 産米消費量	270 kg/年	540 kg/年
センダン植栽面積（累計）	0.42ha	1.60ha
シカ・イノシシ捕獲数	873 頭/年	1,000 頭/年

■ 具体的な事業

・ほ場整備事業 ・町内産米・地産地消推進事業（そえた産米を食べようプロジェクト） ・環境にやさしい森づくり推進事業 ・鳥獣被害対策の推進	など
---	----

(2) 地域産業の振興を図る

基本的施策

町内での創業、新規事業展開等を希望する事業者へのきめ細やかな支援とともに、高齢化による後継者問題を解決するため、担い手育成・事業承継を支援していきます。

また、町特産品の開発・販売促進・販路拡大の推進など、地域資源の活用並びに特産品の継承支援を行うとともに、ふるさと納税返礼品の充実等に取り組むことで、事業者の所得の向上及び安定した経営のための環境整備を目指します。

取り組み内容

- ① 町内で創業、新事業展開等を行う事業者に対し補助金を交付することで、産業の振興と雇用の創出を図ります。
- ② 道の駅歓遊舎ひこさんにおける町内特産品の販売促進・PR活動の支援等を行い、売上向上を図ります。
- ③ 町の特産品として、イノシシ、シカ等の良質なジビエの安定供給とともに販売ルートの拡大を図ります。
- ④ 町内の特産品等を活かした返礼品の充実に取り組み、ふるさと納税の普及・推進を図ります。

■ 成果指標

指 標 (K P I)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
新規創業者数	4件/年	6件/年
ジビエ出荷量	0 kg/年	500 kg/年
ふるさと納税の受付件数	1,985 件/年	10,000 件/年

■ 具体的な事業

- ・ 添田町創業等支援事業（添田町スタートアップ支援事業）
 - ・ 道の駅歓遊舎ひこさん販売促進
 - ・ 添田産ジビエの推進
 - ・ ふるさと納税の推進
- など

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる



(1) 妊産婦や乳幼児の健康づくりを推進する

基本的施策

安心して子どもを産みたい妊娠希望者を対象に、妊娠期から幼児期における行政サービスなどの情報提供をはじめ、個別訪問による各種指導などきめ細かに寄り添っていくことで、各ステージにおける負担の軽減を目指します。

また、出産後における乳幼児の正しい食生活による健康的な発育を支援するため、食育について理解を深めてもらうとともに、出産育児に係る費用の負担軽減に取り組むなど、妊産婦の健康維持と乳幼児の健やかな成長のための支援を行います。

取り組み内容

- ① 妊娠希望者等を対象に、風しんの感染予防のため、風しんワクチン予防接種の助成を行います。
- ② 妊娠、新生児、離乳食訪問など、各子育て段階に寄り添った支援を行います。
- ③ 食育に対する正しい知識の普及を図るとともに、噛むことの大切さや、栄養相談体制の充実と地域関係団体等と連携し食育を推進します。
- ④ 出生児1人につき10万円を支給します。さらに、子どもが3名以上いる場合、第3子以上が満3歳になるまで月1万円を支給します。

■ 成果指標

指 標 (KPI)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
子育て期の保護者への個別訪問の割合	—	100%
乳幼児健診受診率	94.1%	100%

■ 具体的な事業

- ・ 妊娠希望者等風しんワクチン接種助成事業
- ・ 子育てねっとそえだの運営
- ・ 子ども飯普及事業
- ・ 添田町出産育児奨励金

など

(2) 子育て支援の充実を図る

基本的施策

子育て世代が安心して楽しく住み続けられる町を目指し、妊娠期から利用できる子育て支援センターや児童館とも連携を行い、多様な交流の場の提供や、子育てに関する情報提供をはじめ、子ども服など子育て用品の再利用事業など、きめ細やかな行政サービスの充実のみならず、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策を実施していきます。さらには、子どもたちが安全で安心して過ごせる放課後の居場所づくりとして、放課後児童クラブの充実を図ります。

取り組み内容

- ① 子育て親子の交流の場を設けることで、保護者同士のつながりを通じて、子育ての不安の解消を促し、子どもの健やかな成長を支援します。
- ② 児童が日頃できない体験活動の機会を提供し、体験活動を通じて自信や積極性の成長を促します。
- ③ 再利用できる様々な子育て用品を交換できる場を設け、リユース（再利用）を促進します。子育て世帯の情報交換の場としての利用も促進します。
- ④ 放課後や夏休み等の長期休暇中に、児童に安全な場を提供し、子どもの「遊び」や「生活」を支援することを通して、その子どもの健全育成を図ることを目的とし、小学校区で放課後児童クラブを実施します。

■ 成果指標

指 標 (K P I)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
子育て支援センター事業参加者数	1,516 人/年	1,500 人/年
児童館利用者数（延べ人数）	4,889 人/年	7,000 人/年

■ 具体的な事業

- ・地域子育て支援センター（拠点事業）
 - ・児童館わくわくプロジェクト
 - ・子育て応援リユース事業
 - ・保育料完全無償化事業
 - ・放課後児童クラブの充実
- など

(3) 学校教育の充実を図る

基本的施策

町の教育施策に掲げる「ふるさと添田町を愛し 夢・希望を実現する、かしこさとたくましさを兼ね備えた人間性豊かな心を持つ子ども」の育成を目指すとともに、社会にはばたくことができるように、外国語教育やＩＣＴ授業など、これからの時代に必要な教育を行うとともに、児童生徒が安心して学校生活を送れるように様々な支援を行います。

取り組み内容

- ① 小学５年生を対象に長期宿泊学習を実施するなど、「ふるさとそえだプロジェクト」に掲げた、故郷愛を持ち、かしこさとたくましさを合わせ持つ子どもの育成を目指します。
- ② 小中学校にＡＬＴを配置することで、外国語の学習支援を行うとともに、異文化にふれる機会を充実させることで、子どもの積極的な異文化交流を促します。
- ③ ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けて、児童生徒のＩＣＴ機器の利活用が促進されるよう、教職員のＩＣＴ活用に関する包括的な支援を行います。
- ④ 優秀な学業成績を修めている学生に対し、経済的理由で進学をあきらめることがないよう、奨学金を給付します。
- ⑤ 学校と保護者等間の連絡を円滑に行うためデジタル化に取り組みます。

■ 成果指標

指 標（ＫＰＩ）	現状値 （令和４年度）	目標値 （令和７年度）
ふるさとそえだ学習実施数（小学５年生）	—	30 時間
給付型奨学金支援者数（累計）	45 名	66 名

■ 具体的な事業

- ・ 長期宿泊体験学習
- ・ 外国語指導業務委託事業
- ・ ＩＣＴ教育推進事業
- ・ 添田町給付型奨学金事業
- ・ ＩＣＴ活用による校務効率化事業（校務のクラウド化推進事業） など

基本目標 4 安全・安心をベースに誰もが活躍できる場をつくる



(1) 防災・危機管理対策の充実を図る

基本的施策

多発する自然災害に対応し、人的犠牲者ゼロを達成するため、防災体制の強化を図るとともに、町民の防災意識を向上させ、災害時の円滑な避難活動の実現を図ります。また、自主防災組織の設立を支援するなど、地域内での共助の活性化を支援します。

取り組み内容

- ① 災害救助法や災害対策基本法に基づく避難行動要支援者の名簿作成及び支援者による情報共有を行うことにより共助の意識の向上を図り、災害時における逃げ遅れゼロを目指します。
- ② 防災ラジオの配付及び自主防災組織設立の支援等を行い、町民の自助・共助の意識を向上させ、災害被害者ゼロを目指します。

■ 成果指標

指 標 (K P I)	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和7年度)
災害人的被害者数	0人	0人
防災ラジオの世帯配付率	58.0%	65.0%

■ 具体的な事業

- ・ 防災・危機管理対策事業
 - ・ 避難行動要支援者対策事業
- など

(2) 生きがいを持てる環境づくりを図る

基本的施策

すべての町民に、生きがいづくりや学びの場の提供を社会全体の取り組みとして、積極的に推進するとともに、生涯学習を通じての交流や知識、技術の向上につなげ、生きがいを持って地域で活躍できる地域社会の形成を目指します。

また、総合計画に掲げた合言葉「みんなでまちづくり」を実践するため、住民参加により作成した、「みんなでまちづくり指針」をベースに、町民と行政による協働のまちづくりに向け、具体的な取り組みを進めていくとともに、地域の課題を見出し、住民が積極的に関わる仕組みづくりが構築できるよう、地域の連携や持続可能な地域コミュニティの維持及び活性化を図ります。

取り組み内容

- ① 地域活動に意欲のある高齢者が、技術や特技を習得するための教室を受講し、その技術はもとよりこれまでの経験を活かし、地域に積極的に関わり活躍できる仕組みを構築します。
- ② 住民の生きがいづくり、うるおいのある地域づくりのために、そえだ公民館を中心に生涯学習講座の開講及び支援を通じて、住民の学びの場を提供します。
- ③ 高齢者が気軽に外出できるよう見守りなどの支援を行うことで、交流の場への参加など、地域との交流や生きがいをもって生活できるよう環境づくりを推進します。
- ④ 高齢者の生活機能向上のための機能訓練や、引きこもり予防を目的とした「元気クラブ」など介護予防事業への参加を促し、健康な体づくりや生きがいづくりを推奨します。
- ⑤ 協働のまちづくりを推進するために、町民と行政が連携し、両者が並走する形で多くの町民が参加して町を活性化させ、「みんなでまちづくり」の仕組みづくりを行います。
- ⑥ 地域の多様な人々が関わる仕組み（地域運営組織）づくりに取り組み、地域の連携やコミュニティの維持、地域力の向上を図ります。

■ 成果指標

指 標（K P I）	現状値 （令和4年度）	目標値 （令和7年度）
生涯学習登録者数	274 人	300 人
介護予防教室参加者数	535 人	575 人
地域運営組織の設立	—	1 組織

■ 具体的な事業

・シニアパワーアップ塾の推進 ・生涯学習講座開設事業 ・いきいき生活支援事業 ・みんなでまちづくり推進事業 ・小さな拠点づくり事業	など
---	----

(3) デジタル技術導入の推進を図る

基本的施策

人に優しいデジタル化の実現に向け、急速に進むデジタル社会に町民が対応できるよう、誰一人取り残されないための支援を行い、デジタルツールの普及に取り組むとともに、役場に来庁することなく、いつでもどこでも行政サービスを受けられるよう、各種証明書の発行をはじめオンライン化を推進し、役場窓口における自動化による職員の業務の効率化に取り組むなど、デジタル技術の活用による住民の利便性の向上を図ります。

取り組み内容

- ① デジタル活用に不安のある高齢者等の情報格差（デジタルデバイド）の解消を図るため、スマホ教室等を開催し、民間事業者や地域と連携してデジタル技術を活用できるよう支援します。
- ② 妊娠・出産・子育て支援、疾病・介護予防、医療・介護連携に対応するパーソナルヘルスレコード（PHR）の活用を検討します。
- ③ 添田町公式LINEの更なる情報発信の拡充を目指し、各種ニーズに応じた機能等を追加し、住民と行政相互に利便性を高めます。

■ 成果指標

指 標（KPI）	現状値 （令和4年度）	目標値 （令和7年度）
添田町公式LINE登録者数	2,800人	4,000人

■ 具体的な事業

・デジタル活用支援事業 ・パーソナルヘルスレコード（PHR）の活用 ・添田町公式LINEの拡充	など
---	----

8 総合戦略の推進体制

(1) 総合戦略の進行管理

総合戦略の進行管理については、PDCAサイクルによって、その進捗の達成度や効果などを検証し、改善する仕組みを構築します。

この効果検証の客観性を担保するため、基本目標に数値目標、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、目標や施策等の効果について外部委員による検証機関において検証します。

(2) 総合戦略の見直し

総合戦略の期間は5年間としていますが、本町を取り巻く社会経済情勢やニーズの変化、また、法律や国の制度改正などがあった場合には、計画期間中においても必要に応じて見直しを行います。

デジタル社会の実現に向けた
添田町 第2期 まち・ひと・しごと
創生総合戦略

令和3年3月
(令和4年3月改訂)
(令和5年3月改訂)
(令和6年3月改訂)

発行：添田町役場 まちづくり課 政策企画係

〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
tel.0947-82-1231（代表） / fax.0947-82-2869